



お江戸舟遊び 瓦版 428号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

新砂干潟クリーンアップ作戦&自然観察会

日時：5月22日 10時～15時

所：荒川河口 新砂干潟

主催：江東エコリーダーの会

- 今年の春の新砂干潟クリーンアップ作戦&自然観察会が行われました。今回の干潮は今までで最も引いた干潟で、海水が無いほどでした。
- まず、野鳥の観察が行われ、カワウ、コサギ、ムクドリと少でした。その後、海浜部のクリーン作戦を行い、ゴミ袋にたくさんのプラスチック容器などの漂着ゴミや粗大ごみを収集しました。昨年の秋に比較し少し少なくなった感がありました。青空講義でアユの話聞いた後、カニがいっぱい底生生物調査を行いました。投網はできませんでした。最後の植物調査によると、海浜部の植生は緑いっぱいでした。



自転車と車で現地へ



干潟はコサギが



干潟に入り



まずはクリーン作戦



干潟にはイセウキヤガラ



カニは元気いっぱいでした



東京湾のアユの青空講義



海浜部の植物調査



ゴミ袋にいっぱいのゴミ

第2回江東区観光協会セミナー 「民泊サービスへの取組について」

日時：2016年5月17日 所：江東区産業会館
講師：興津泰則（日本旅行業協会国内・訪日旅行推進部長）



1) 訪日外国人旅行者数の推移

昨年の訪日外国人旅行者は1974万人で前年比47.2%増。

ビジットジャパン事業開始の2003年の521万人から3.8倍増にもなっている。

2) 客室稼働率（平成27年7月・第2次速報値）

都道府県別客室稼働率は、東京都はビジネスホテルで93.2%、北海道のシティホテルで90.5%、大阪リゾートホテルで95.3%と高い一方、旅館は30~60%と低い。簡易宿泊所も30%以下。

3) 「明日の日本を支える観光ビジョン」～「観光先進国」に向けて

- 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議によると以下のビジョンが出された。

	2020年	2030年
訪日外国人旅行者数	4000万人	6000万人
訪日外国人旅行消費額	8兆円	15兆円
地方での外国人宿泊数	7000万人泊	1億3000万人泊
外国人リピーター数	2400万人	3600万人
日本人国内旅行消費額	21兆円	22兆円

外国人4000万人は羽田空港等ではとても受け入れ不可能！ クルーズに期待！！

中国の爆買いブームは急減中！（電化製品から化粧品、クスリへと購買額は縮小）

- 施策概要：観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に！！

現行制度にとらわれない宿泊法制度の抜本見直し＝民泊サービスへ

ニーズに合わせた宿泊施設の提供・増加投資

4) 民泊に関する議論の背景

- 民泊とは、自宅の一部や空き別荘、マンションの空き室などを活用する宿泊サービス提供。反復継続して有償提供の場合は、旅館業務法の許可が必要になる。
- アメリカ「Airbnb社」は、空き室を短期で貸したい人と旅行者を仲介するサイトにより、世界各国で民泊ビジネスを展開。日本でも約2万1千軒が登録。中国に特化したサイトが急増中。フランスの宿泊施設数の事例

	1995年	2010年	2015年
ホテル（軒）	22,616	18,400	17,143
Airbnb（床）	0	5,000	228,000

ヨーロッパ各国のAirbnb物件数

パリ	ロンドン	ローマ	ベルリン	バルセロナ	日本	全世界
60,000	25,400	18,500	15,000	14,500	21,000	2,000,000

5) 民泊に関する議論の背景

なぜ発展したか： ソーシャルネットワークにヒントを得た上手な売り文句

Airbnbは、行政手続き不要、コスト不要、収入保証、ホテルより3割安

6) ホテル客室不足への対応策と民泊への考え方

旅館稼働率アップと 安心・安全・違法行為の根絶をベースに民泊の拡大

所感：政府は「明日の日本を支える観光ビジョン：観光先進国に向けて」で、2030年に訪日外国人旅行者数6000万人を目指しているが、空港施設も宿泊施設もそれに対応できる状況にはない。その対策として、「民泊」の拡充で乗り切ろうと考えているが、旅館業法や宅建法の規制が障害となっている。海洋観光立国を夢見る者には、ホテルではなく、日本中に広がる「農家民宿」等の拡大で、大企業ではなく、広く農家に収入が行渡る仕組みこそが望まれる。ちなみにドイツの農家民宿では政府の支援で、1か月間家族で宿泊する仕組みができています。（文責 中瀬）